

創意工夫と先進の社風を大切に、 印刷事業とシステム開発事業を展開。



自動化が進む工場内のライン

昭和初期、最新の印刷機械をいち早く導入

西宮市の海岸沿い、今津砲台記念碑の近くに本社を構える株式会社小西印刷所。創業は大正15年で、今年で92年の社歴を誇る印刷会社である。創業者の小西初男氏が印刷業務の修業を経て、西宮市用海町にて印刷所を立ち上げたのが始まりだ。創業者小西初男氏は当初から最新の印刷技術の導入に積極的であった。現社長の小西順三郎氏によると、「1930（昭和5）年に業界に先駆けて当時の最新鋭印刷機『ハイデルベルグプラテン全自動印刷機』をドイツから輸入しました。また、活版印刷からオフセット印刷への移行も早くから取り組んできました」とのこと。今日まで技術革新と時代の変化への対応に努めてきたことが、一世紀近い事業継続を可能にしてきたといえる。



代表取締役社長 小西順三郎氏

太平洋戦争後においては、経済成長とともにコンピュータの普及を見越して、1955（昭和30）年に「ビジネスフォーム印刷機」を設置し、帳票類の印刷をいち早く

開始した。さらに、パーソナルコンピュータが普及し出した1980年代以降、今では当たり前となっているDTP（デスクトップパブリッシング）への移行に取り組んだ。インターネット時代の到来とともに、Webデザインへの対応も早い時点で着手し、現在ではシステム構築部門として事業の一端を担うまでになっている。

企画提案から制作、印刷、配送まで一貫対応

現在、売上高の大半を占めている印刷事業に加えて、システム開発事業に注力している。Webサイトの制作やホスティングサービス、データベース構築、システム開発、インターネット技術を活用した業務効率改善など、多岐にわたるソリューションの提案が強みだ。それとともに、印刷事業およびシステム開発事業の両方でシナジーを発揮し、西宮市の本社に加えて、東京・銀座に支店を置き、関西および関東を中心に営業活動を展開している。

主力の印刷事業では、あらゆる印刷ニーズに応えることが可能だ。大型枚葉（オフセット）印刷機の運用で24時間体制を構築し、カタログやパンフレット、リーフレットやチラシなど単色からカラーまで高品質・短納期に対応できるほか、製本など各種加工やセットアップ作業、パネル加工や什器類の設計・作成など幅広い

商品に対応している。

昨年には、検査カメラ付き折り機を導入して、一連の折り作業を自動化したのに加えて、速乾印刷機を導入することで、印刷物の乾燥時間を短縮している。このほか、カタログなど定型のフォーマットが多い印刷物については、自動組版のシステムを導入している。こうした数々の技術を取り入れることで、生産リードタイムの大幅な短縮を行うとともに、不良品率の低減、生産性の向上、コスト削減に成功している。

また、印刷の付帯サービスとして、小ロット印刷やオンデマンド印刷、宛名印刷、ダイレクトメールなどの封入封緘や発送業務、個人情報を含む情報処理業務などきめ細かな対応ができる点も強みだ。特に配送部門では、自社便による直接納品や提携運送会社での遠方配送、宅配便各社にて全国発送に対応している。「お客様への提案サービスから制作、印刷、配送までを一貫して対応できるワンストップ体制を整えている点が当社の基盤」と、小西社長は語っている。



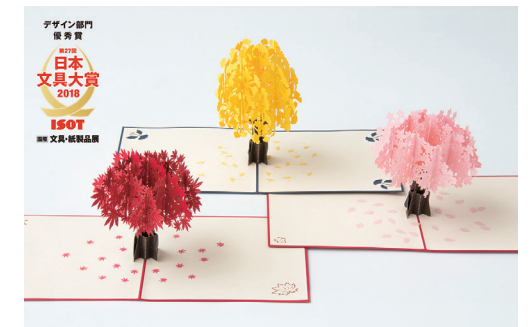
最近の印刷サンプル

「WAO！POP」ブランドのカード商品を展開

創業以来、創意工夫をもって付加価値のある商品を提供し、印刷・情報文化を通して社会に貢献することを経営方針に掲げてきた小西印刷所。冒頭で紹介したように、新しい技術を常にいち早く導入し、新たな事業に積極的に挑戦する企業文化を培い、生産性の向上やサービスの向上、新商品開発による新事業開発に積極的に挑戦している。

そして同社の新たな挑戦が、「飛び出す絵本」型のグ

リーティングカードの開発、販売である。これは、カードを開くと複雑に組み込まれた仕掛けが立ち上がり、立体感のあるオーナメントを全方位から鑑賞できるカードである。「印刷業として紙に関わる物販を手がけたかった」という小西社長の思いから生まれた自社商品だ。



新開発「飛び出す絵本」型のグリーティングカード

印刷業で蓄積した開発力および印刷力を活かして、昨年度に「WAO！POP」（商標登録申請中）のブランド名で商品化した。類似商品は存在するものの、同社の商品はレーザーカッターを駆使して高精度に切断したパーツを一点ずつ人の手で組み立てている点が特長だ。また、商品に使用する紙の選定および糊の開発などで、独自の加工技術を活用している。

「WAO！POP」商品の企画と開発および製造指示は同社が行う一方、生産はベトナムの会社に委託している。「一点ずつ手作りではあるものの、大量生産を可能にする受注体制を整えている」とのこと。

当商品は、今年の国際文具展において「第27回日本文具大賞2018」の優秀賞を獲得した。今後、冠婚葬祭や誕生日向けに販路開拓を進めていく計画だ。加えて、インターネット販売による小売りも検討していくという。

「時代は想像以上に早く変わっていく中、長い社歴の中で培った変化への対応力をさらに発揮していきます。そして、今後もより良い製品、商品をお客様のもとにタイムリーにお届けすることを追求していきたい」と、小西社長は抱負を述べる。印刷という事業の可能性を追求する一方、ICT（情報通信技術）を駆使したシステム開発事業で、小西印刷所はさらなる飛躍をめざしている。

会社概要



- 名称：株式会社小西印刷所
- 代表取締役社長：小西 順三郎
- 本社所在地：西宮市今津西浜町2-60
- 代表電話0798-35-1331
- 創業：1926（大正15）年
- 事業内容：印刷業、システム開発業
- 資本金：6,050万円
- 従業員：100人